

「不整脈」

平成 25 年 10 月放送

和田 嗣業

みなさん、不整脈と言うと、どう言う病気を思い浮かべますか。「胸がドキンとする。何だろう。しばらくしてまたドキンとする。何これ、心臓に何かおきているかも。病院に行った方がいいだろうか？でも怖い病気だったらどうしよう」こんなイメージでしょうか。

不整脈というのは、心拍数やリズムが一定でない状態の事を言います。

ただすべての不整脈に怖い病気が隠れているわけではないのです。例えば健診でみつかると、症状のない心電図異常の多くは治療のいらぬものが多いです。逆に、胸がつまるなどの症状もある場合は、狭心症や心筋梗塞をいった命に関わる怖い病気が隠れていることがあります。

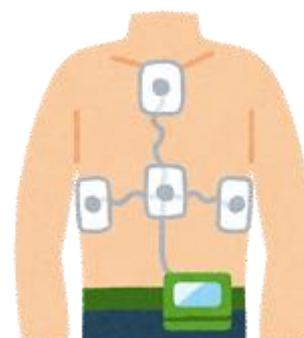
不整脈の症状としては飛ぶ感じ以外に、脈が速くなってドンドンするような症状。これを動悸と言います。逆に脈が遅くなって、めまいやふらつきの症状がみられることもあります。

どんな不整脈が出ているかまず心電図をとります。実はこれが結構難しく、病院に来たら症状が消えたとか。心電図をとるころには症状がなくなったなどあり、どのような不整脈か診断がつかないことがあります。普通に心電図で捉えられない場合、ホルター心電図といって、胸に心電図を貼って 24 時間くらい記録して不整脈が隠れていないか調べます。今はたばこサイズくらいまで小さくなり、仕事も可能です。普通はそれで不整脈が見つからなくて、心機能に異常がなければ経過をみることが多いです。ただ、意識がなくなることを繰り返すのに原因がはっきりしない方には、最近は植え込み型心電計といって、USB

メモリーぐらいのものを胸の皮膚のしたに植え込む方法があります。キズは 2 センチほどで抜糸がすめば日常生活は支障なく運動も可能で、最長 3 年間記録ができ、その間に意識がなくなる時の心電図変化を捉えるものです。

このような検査をして、治療のいらぬものは経過をみていただきます。健診などを多くがこれに含まれます。

一方、治療する場合、大きく 2 つに分けられます。一つは薬を使う方法で、抗不整脈薬といって、不整脈を抑えるお薬を飲んでもらい効果をみます。もうひとつは非薬物療法と言うのですが、具体的には、カテーテル治療や



ペースメーカーなどがあります。カテーテル治療というのは、電極のついたカテーテルという管（くだ）を心臓の中において、不整脈の本体を調べて、異常な箇所を焼く治療をいいます。ちょっと聞くと怖そうですが医師と何人ものスタッフと一緒にいきますし、何より管（くだ）を入れるための最初の麻酔と焼く時以外は痛みがほとんどないのが常です。すべての不整脈がカテーテル治療に当てはまるわけではありませんが、なにより、心臓のすぐ近くから情報を得ているので、診断率も高く、治療が終われば、内服が少量から中には、いらなくなるまである治療法です。ペースメーカーは意識がなくなるなど脈が遅いときに行う治療法です。そして 2004 年 7 月から一般の方も使用可能となった AED も不整脈の治療の一つと言えます。

いろいろ話してきましたが、胸が変だなと思ったら、まずは医院や病院を受診することをお勧めします。今回は不整脈の話をさせていただきました。